

## 令和8年度 野球部の活動について

### \* はじめに \*

本校は市内でも伝統ある学校の一つです。現在野球部は、顧問2名、外部指導補助員1名で行っております。練習の中で成果が出ていけば全員が活躍するチャンスがあります。

### \* 部活動の位置付け \*

自らの希望する生徒を対象に活動を行っております。できるだけ多くの生徒が活動に参加できるようにしています。

### \* 部活動の目的と意義 \*

- ①各教科の学習や学級活動で得られないことを経験する。
- ②打ち込める活動を通して、物事をやり通す強い精神力を養う。
- ③自ら進んでその活動に参加し、学年を越えて全員で協力をして活動する喜びを経験する。

※部活動の目標は試合やコンクールで良い結果を得られるように目指すことですが、目的は**人間形成**であると考えています。

## 部活動の基本 あいさつ！返事！整理整頓！

### \* 部活動によって得られること \*

まず「達成感」が学べます。何かをやりきった喜びです。また何かを達成できなかったときの「挫折感」を味わうこともあるかもしれません。そこから様々な「教訓」や次に向けて「努力することの大切さ」を新たに学ぶことができます。中学の部活で出会った友達の中からは「一生の仲間」、「本当の友だち」となる人物が出てくることもあります。そういう「仲間の大切さ」、そして仲間とうまくやっていくための「コミュニケーション」も自然と学ぶこととなります。もちろん、同じ学年の仲間だけではなく、先輩や大人と接する中で「人との関わり方」を学べます。運動部であれば、苦しい練習に耐える「忍耐力」も得られ、その分「体力」を身に付けることができるでしょう。

部活動からは、他にもたくさんのことを学ぶことができます。これらは全て将来、立派な大人として社会に出ていくために必要な経験でもあります。中学の部活動を通して得た経験は大人として生きていくための大切な考え方やスキルとして生かされるのです。部活動では知識から学べないことがたくさん学べます。少し大げさな言い方かもしれませんが、部活動に入り頑張ること自体が「人生の勉強方法」であると言えるかもしれません。部活動は、健全な心身の育成をするための教育活動として、貴重な役割を果たしています。

### \* 中学校部活動のメリット \*

#### — 学校外のチーム（クラブチーム等）との比較 —

近年、学校外にも多くのチーム（以下、クラブチーム）が存在します。一般に、技術の高い選手が集まりやすい、指導者が替わることがない、主力選手になれば強豪私学に進むチャンスが広がる等のメリットがあります。一方で、部活動にも以下のメリットがありますので参考にして頂ければと思います。

#### ● 金銭面など保護者の負担の違い ●

部活動は必要経費しか掛かりませんので、クラブチームと比較すると金銭面での負担はだいぶ少ないです。クラブチームは、送迎や帯同、用具の準備等、その他の部分でも負担が大きくなる場合があります。

#### ● 活動の違い ●

部活動は学校行事に合わせての活動（試験前は原則練習中止など）を設定します。そのため、学校行事等の調整をする必要性がありません。一方、クラブチームは色々な学校から選手が集まっているので、試験中に練習が入ったり、土日の試合が学校行事と重なってしまうこともあります。また、都大会などは東京都レベルで調整するため、学校の授業を欠席して出ることはありません。また、クラブチームは放課後の委員会などの活動に参加しづらい面があり、学校での活躍の場面が限られてしまうこともあります。

## ●生活指導が手厚い●

指導者が教員であるため、生活や学習の状況を踏まえた指導ができます。生活の乱れに対する指導も、部として関わります。学校全体で見守るため、心配が少ないと考えます。

## ●進学について●

クラブチームの方が高校進学に有利だと考えてられているかも知れませんが、クラブチームのレギュラーを勝ち取り、主力選手であれば、確かに全国レベルの強豪私学への進学チャンスは、一般的にクラブチームの方が有利といえます。ただし、それ以外については、大きな違いはありません。一般の受験の場合は、3年間、部活動を継続した努力が評価されるので、むしろ部活動をやっていた方が有利な面もあります。

## ■野球部活動方針

- ・野球部員である前に、横山中生としての活動をおろそかにしないこと。
- ・挨拶や言葉づかいが正しくできること。また時間を守れること。
- ・チームとして戦う以上、仲間を大切に、また、自分を厳しく律することのできる協調性や規律をしっかり身につけることができること。
- ・野球というスポーツを通じて、社会におけるルール及びマナーを覚えること。
- ・部活動を通じて、逆境にも強い心を育てること。

## ■練習の位置付け

平日の練習は放課後だけで考えますと2時間程度です。  
短時間で、効率的に練習メニューを組むことに重点をおいています

## ■年間の練習の考え方

### 1・2月(体力強化期)

- 1月は体力強化と基礎技術向上を目指し練習を進めます。
- 2月は、オープン戦(練習試合)を交えながら、学年末テストまで基礎技術と共に並行して練習します。

### 3月

オープン戦を交えながら仕上げていきます。

### 4月～7月(試合期)

オープン戦を交えながら調整をします。

(5月 中体連春季大会)

6月の3年生最後の大会に向けて最後の仕上げをしていきます。

(6月 中体連夏季選手権八王子予選 7月 中体連都大会 多摩大会 8月 関東大会 全国大会)

### 8月 新チームへの移行期

基礎技術及び体力の向上を狙い、基本練習とオープン戦を組み合わせながら、9月からの大会に向けて備えます。  
(8月 文部科学大臣杯全国少年野球大会予選)

### 9月～10月

9月から大会の開幕です。オープン戦を交えながら調整をしていきます。

(9月 中体連秋季地区予選 10月 中体連秋季都大会)

### 11月～12月(体力強化期)

オープン戦を交えながら、体力強化・基礎技術向上を目指し練習を進めます。

## ■オープン戦(練習試合について)

- ・対戦相手は、市内はもとより、市外のチームと練習試合を実施いたします。横山中学校のグラウンドでは複合バットによる練習試合が出来ないため、練習試合は他校への遠征もあります。他校にいく中で団体行動の中における規律、更なる技術向上を目的とし遠征試合を実施しています。
- ・遠征試合及び公式戦の場合は、交通手段として公共交通機関を利用します。

- ・集合は、駅に直接集合をします。(試合前に原則として内容を書いた用紙を配布いたします。)
- ・欠席においては、事前もしくは当日の集合時間までに顧問までご連絡ください。

## 諸注意

### 1 部活動はみなさんの意志で行うものです。

授業や学校行事とは違います。顧問から参加を強制することはありません。「野球をやりたい」という皆さんの強い気持ちのもとに、横山中野球部は存在しています。

### 2 部活動は周りの人の支えがあって初めて行えるものです。

御家族の支え、グラウンドや道具類の存在、先生方の指導、その他様々な協力があって部活動は成り立っています。決して自分がやりたいから簡単にできるのだ、などとは思わないでください。感謝の気持ちを、まずはあいさつという形で示せるようになりましょう。

### 3 無断欠席、サボりは厳禁。

部活動を休まなくてはならないときは、必ず本人が顧問に直接伝えるようにしてください。誰かに伝言を頼む、というかたちでは欠席理由が正確に伝わらないこともできます。土曜休日は、電話で話すことができる限り保護者の方ではなく本人が顧問に連絡をするように御家庭でも御指導願います。

## 必要な道具

### 1 グラブ

単色で地味な色のものにしてください。赤と黒の2色で作られているものなどは使用できません。

### 2 スパイクシューズ

黒一色と指定されています。判断に迷う場合は販売店の方に「中学校の野球部で使えるスパイク」と尋ねてください。

### 3 練習用ユニホーム、ベルト

上下白色のものを用意してください。アンダーシャツは紺色、ベルトは黒色です。

### 4 試合用ユニホーム、練習試合用ユニホーム、帽子、ストッキング、遠征用バッグ

業者を通して一括購入します。

- \* バットは部で何本か用意してありますが、自分で素振りをしたい、試合で自分のバットを使用したい、ということであれば購入していただいても構いません。

## 部の決まり

- ・ 帽子やベルトなどの細かいものでも、忘れ物がある場合は練習に参加できない。平日であれば再登校。土曜、休日、長期休暇中であれば取りに帰る。
- ・ ズボンやジャケットのポケットに手を入れない。非常にだらしない。寒ければ手袋を用意する。
- ・ ネックウォーマーの着用はアップまでとする。キャッチボールに入ったら取る。
- ・ 自分のバットを平日に持ってくる場合は、朝職員室に預ける。絶対に教室に持って行かない。
- ・ 学校生活が第一。問題行動等があった場合は練習や試合に参加させない。

\* 服装は以下の通りです。

- ・ 朝練習の際は学校ジャージ、体育着(上は野球用のTシャツであれば可)もしくは放課後と同様。
- ・ 平日放課後、土曜休日長期休暇中練習の際はスパイク、紺ソックス、練習用ズボン、白一色の練習着またはセカンドユニホーム、練習用帽子着用。ジャケット等の着用に関してはその都度指示をする。
- ・ 練習試合の際はスパイク、紺ソックス、練習用ズボン、セカンドユニホーム、練習用帽子着用。または公式戦用ユニホーム一式。試合が続く際はこれらを交互に着用していく。
- ・ 公式戦の際は公式戦用ユニホーム一式。

## 安全面について

- ・ 野球は様々な箇所のケガが起こりうるスポーツです。また、バット、ボールなど道具を用いるため事故が起こりやすいスポーツでもあります。そのため、体操やアップを十分に行い、けがの予防に努めます。また、安全面も生徒に指導し、顧問や指導者の元事故の未然防止に努めていきます。

その他不明な点がございましたら野球部顧問まで御連絡ください。

## 部費について

- ・例年部費を徴収し、グラウンド使用料や用具代に充てさせてもらっています。また、東京都中体連野球部より、各チームで保険に入るよう指導がありました。現在本校では、スポーツ安全協会の「スポ安ネット」(別添パンフレット)に入ろうと思っております。今年度部費に関しては、3年生 4000円 1、2年生は 5000円です。本日配布する「部費の徴収について」の期日までに納入をよろしく願いいたします。